

☆ 授業のヒント

今回は、日本語のことは遊びをいくつか紹介
こんかい にほんご あそ しょう
 します。
かい

テーマ ことば遊び

目的 <small>もくてき</small>
<ul style="list-style-type: none"> 日本語のことに興味を持つ。 <small>にほんご きょうみ も</small> 楽しみながらことはを覚える。 <small>たの おぼ</small>
学習者のタイプ <small>がくしゅうしゃ</small>
<ul style="list-style-type: none"> 初級後半、中級、上級 <small>しょきゅうこうはん ちゅうきゅう じょうきゅう</small>
クラスの人数 <small>にんずう</small>
<ul style="list-style-type: none"> 何人でも <small>なんにん</small>
準備するもの <small>じゅんび</small>
<ul style="list-style-type: none"> 特になし <small>とく</small>

ことば遊びとは

どのような言語でも、冗談やなぞなぞ、早口ことばなどの、ことば遊びがあります。今回は日本語のクラスで使えることば遊びとして、しりとり、なぞなぞ、あいうえお作文、聞きまちがいを紹介します。ことば遊びは、授業の時間が余ったときや、日本語の行事、たとえば発表会や他の学校との交流会のときに、使うことができます。

しりとり（初級からできます）

しりとりは、一人が一つのことばを言って、次の人がそのことばの最後の音で始まることばを続けていく遊びです。たとえば最初のことばが「あき」だったら、次の人は「きもの」などと言います。その次の人は、「ノート」「のり」などのように続けます。

例：あき（秋） きもの（着物） ノート
 とけい（時計） いす スポーツ
 つくえ えき（駅） きって（切手）
 テレビ ビデオ おなか かいしゃ（会社）
 シャツ……

ただし、最後に「ん」のつくことば（「ほん」「みかん」など）を言ったり、前にだれかが言ったことばをもう一度言っただけではいけません。それから、できるだけ名詞でしりとりをしたほうがいろいろな音で終わるのでいいと思います。特に、形容詞は「い」で終わるものが多いので、形容詞を入れると何回も「い」で始まることばを考えなければならなくなります。でも、どうしても他のことば

が思いつかなかったら、動詞や形容詞などを使ってもいいでしょう。また母語のことばを入れてもいいと思います。それぞれの教室に合ったルールを作ってください。

初級のクラスでしりとりをするときは、学習者がどうしてもことばを思いつかないとき教科書の語彙リストを見てもいいことにするといいでしょう。また、「ぬ」「め」「ら」「る」などで始まることばは少ないので、このような場合は、教師が助けてあげたりするといいでしょう。

なぞなぞ

日本語では、あることばと他のことばが意味は違うけれど同じ音だったり、似ている発音だったりしたときにそれを使って冗談を言うことがあります。これを洒落と言います。たとえば

あひるが言った。「あ、昼だ」

池があって行けません

かえるがうちに帰る

京都えきの前を、きょうとおった（通った）

九日はこのカレーを食べよう。

知っている日本語のことばを使って、このような洒落を作り日本人に話したら、きっと日本人はびっくりするでしょう。でも、このような洒落をたくさん使すぎると、「おやじギャグ」ⁱⁱと言われて、いやがられますから注意しましょう。

このようなことばや文の中に同じ音の部分があることを利用して作られたなぞなぞもたくさんあります。上にあげた例で次のようななぞなぞができます。

すぐうちに帰る動物は何ですか？

答え……かえる

解説：「かえる」と「帰る」は、アクセントは違いますが、音は同じです。

では、次の例はどうでしょう。すぐに答えを見ないで考えてください。

1) わたしは日本人。やさいは何人？

答え……にんじん

解説：その人の国や民族をあらわすときに「～人」という言い方をします。それと野菜の「にんじん」の「じん」の音を結びつけています。

2) 世界の中でこの人の歯がじょうぶですか？

答え.....ハワイの人
解説:「ハワイ」と「歯はいい」の音が似ています。

3) 世界の真ん中にある虫は何でしょう。

答え.....か(蚊)
解説:「せかい」の真ん中には「か」という音があります。「蚊」は虫の名前です。

次の二つのなぞなぞの答えは何ですか。

4) 愛の次には何がありますか。

5) 愛のとりにある果物は何ですか。

わかりましたか。そうです、「あいうえお...」の五十音を思い出してください。4)の答えは「あい」の次ですから、「うえお」、5)の場合は、まず「あいうえお」となりは何でしょう。そうです、「かきくけこ」です。そして「あい」となりは「かき」で、答えは果物の柿になります。

教室では、一人の学習者になぞなぞを読ませて、みんなでも考えてもいいでしょう。初級の後半や中級になって、学習者がたくさんのことばを覚えたら、学習者自身になぞなぞを作らせてもいいでしょう。もしかしたらびっくりするような名作ができるかもしれません。

「あいうえお」作文

この遊びは、「あいうえお」など、初めのことばを決めて、それぞれの音を使って意味の通る文を作るゲームです。英語では、この遊びをアクロスティック(acrostic)といいます。

あさおきて 朝起きて
いろいろ いろいろ
うたったり 歌ったり
えをかいたり 絵をかいたり
おどったりします。 踊ったりします

初めの音はいろいろなことばを使うことができます。そして、できればそのことばが表す内容を説明する文ができたらいいでしょう。たとえば自分たちの学校の名前や町、国の名前などを使って作文してもおもしろいでしょう。日本語国際センターのある埼玉県だったら、

さくら草という花がたくさん
さくら草という花がたくさん
んさきます。

いもで有名です。

たかい山がありません。

ま(待)ち遠しいです。サッカー
ワールドカップ2002!



解説: さくら草は埼玉の花。さつまいもがたくさん

とれて、さつまいもでできたお菓子も有名です。富士山のように高い山はありませんが、秩父という町は山の中にあり、お祭りが有名です。そして、今年2002年には「さいたまスタジアム2002」で、サッカー・ワールドカップの試合が行われます。

聞きまちがい

発音が似たことばを使って、聞きまちがえやすくてもしるい意味になる文を作って遊ぶこともできます。教室では、教師か学習者の一人がその文を声に出して読んで、他の学習者はそれを聞いて「正しい」文が何か当てます。たとえば、次の例はどうでしょう。正解がわかりますか？

- 1) 教授、ウニ食べましょう
- 2) 僕が臭かったのです
- 3) 掃除機に言いなさい
- 4) パンツ食った

正解の文
1) 今日中に、食べましょう
2) 僕が草、刈ったのです
3) 正直に言いなさい
4) パン、作った

以上のように、日本語でもいろいろなことば遊びがあります。学習者によって好きな遊び、できる遊びが違ふと思ひますので、いろいろ試してみてください。おもしろいものができたら、このコーナーでご紹介しますのでぜひ送ってください。

i 「ぬ」のつくことば 布、ぬいぐるみ、沼...
「め」のつくことば めがね、目覚まし時計、メモ...
「ら」のつくことば ラケット、ラジオ、来週...
「る」のつくことば 留守、留守番電話...
ii おやしギャグ
日本人の中年の男性が同じ音を使った洒落をよく言うために、このようなことばができたようです。
iii 「食った」は「食べる」と同じ意味ですが、少々乱暴な言い方です。男の人が、友達と話するときなどに使います。

参考文献

奥村訓代(2000)『異文化共有論』凡人社
参考にしたサイト

ちよつとむずかしい例や、教室では不適切な例もありますが、なぞなぞや「あいうえお」作文、聞きまちがいの問題を作る

- 1. しろくま君のホームページ
http://www.sutv.zaq.ne.jp/shirokuma/index.html
- 2. 駄洒落データベース
http://www.ipc-tokai.or.jp/y-kamiya/Dajare/

このコーナーの担当: 有馬淳一、古川嘉子(日本語国際センター専任講師)

読者の皆さんからのアイディア、成功例、失敗談などぜひお寄せください。